

## 事業報告

我が国経済は、経済の立て直しを第一義に掲げる国の積極的な財政措置や大胆な金融緩和などアベノミクスにより景気は緩やかな回復基調が続いた。しかしながら、昨年秋の消費税率アップや中国経済の成長鈍化、更には年明け以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、経済全体が縮小過程となるなど先行きは一段と厳しい状況に立ち至った。

国は、先の国会（第200回）において、未利用資源である副産物由来の堆肥や肥料をより一層活用し、農業生産費の低減と土づくりを促進するとともに、農業者のニーズに合わせた肥料配合について規制緩和を行い、さらに肥料製造事業者に肥料の適切な品質確保を目的として肥料取締法の一部改正を実施し、法律の題名を「肥料の品質の確保等に関する法律」としたところである。

バーク堆肥需要は、公共事業の縮減等に伴う緑化資材、農業・園芸用肥料など全般にわたって減退し、加えて東日本大震災に起因する原発事故による放射性物質汚染が樹皮にも及び、風評被害なども相まってバーク製造業は厳しい状況で推移している。

このようなバーク堆肥生産販売を取り巻く状況のなかで以下の事業に取り組んだ。

### 1 東日本大震災対応

未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」から今年3月で9年を経過したものの復興対策は東京電力福島原子力発電所の被害対策も相俟って依然大きな課題となっている。

このようななかでバーク堆肥生産・販売に当たって放射性物質基準値の徹底とともに汚染樹皮の拡散防止に努めた。

### 2 品質管理の向上

近年、公共事業の減少等から需要が減少する一方、農業経営では地力改善において有機質肥料の必要性が高まっている状況の下でバーク堆肥など特殊肥料に対する品質管理の適正化が強く求められている。

有機質肥料であるバーク堆肥は、品質管理を徹底し、安定した製品として需要者に信頼されることが重要であり、当工業会は研修会や会員相互の連携や研鑽等を通じて品質管理の徹底と向上に取り組んだ。

加えて、有機質肥料の原料となるバークや木質系廃棄材の受取時の厳選、バーク堆肥の製造過程における品質管理の徹底にも努めた。

### 3 需要拡大の推進

バーク堆肥は、土づくりとしての土壌改良資材、建設工事等の緑化資材や基盤材及び園芸用資材として、それぞれの業界や植物愛好者に利用されている。

当工業会は、バーク堆肥の需要拡大について、農林水産省など関係行政当局に対してバーク堆肥生産の現状と課題等を説明し、指導を仰いできた。

また、近年多発している山地災害等の復旧事業にバーク堆肥の積極的活用が図られるよう、国に対して「災害復旧事業等治山事業へのバーク堆肥の積極的活用」について要請を引き続き行った。

このほか、建設関係や農業関係団体と連携してバーク堆肥の普及を図るとともに建設物価資材、積算資料及び土壌協会広報誌等にバーク堆肥に関する資料を広告掲載した。

なお、行政当局、関係業者からの要請や問い合わせに対しても適切に対応し、バーク堆肥の普及と需要拡大に努めた。

### 4 肥料の自主的な管理ガイドライン案作成検討委員会への参加

今般の肥料制度見直しに伴い肥料製造事業者が保証成分の確保、適切な原料管理や表示の適正性を自社で管理するためのポイントをまとめた「肥料の自主的な管理ガイドライン案」の策定について、バーク堆肥分野の担当として一般社団法人日本科学飼料協会が国から受託した検討委員会に、委員2名を派遣した。

なお、検討委員会では全国食品・畜産有機資源リサイクル協会と共同で化学肥料とは異なるバーク堆肥や家畜糞堆肥をはじめとする発酵によって作られる肥料の特性を提示し、新しく「発酵系肥料」という分類概念を創出して、科学系肥料（発酵過程を経ない普通肥料等）と発酵系肥料（バーク堆肥や家畜糞堆肥）という二本立てでガイドラインを作成する方向に導くことが出来た。

## 5 関係団体等との連携

農林行政当局の指導・助言を受けるとともに、「全国土壌改良資材協議会」、「全国食品・畜産有機資源リサイクル協会」、「NPO法人日本バーク堆肥協会」、「東京肥料品質保全協議会」等関連団体とともに、バーク堆肥の普及と需要拡大に努めた。

また、バーク堆肥と複合した新商品の開発、廃棄物の利用について、「全国食品・畜産有機資源リサイクル協会」等関係団体との連携に努めた。

なお、「(一財)建設物価調査会」のバーク堆肥販売価格の調査等についても協力した。

## 6 軽油引取税課税免除特例措置の利用状況調査について

林野庁の要請に基づき、会員のバーク堆肥製造業における軽油引取税に関する調査を行い、その結果を報告した。

なお、報告社は9社であった。

## 7 組織の充実・強化

本年度は会員加入及び退会はなく3月31日現在の会員は14社となった。

## 8 情報の提供等

- (1) 肥料取締法、土壌改良資材情報等の収集・提供
- (2) バーク堆肥に関する情報の収集・提供
- (3) 合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律(クリーンウッド法)等に関する情報提供
- (4) 令和元年度全国安全週間労働衛生週間の周知
- (5) 労働災害発生状況の情報提供
- (6) 行政情報の収集・提供
- (7) 自然災害情報、復旧事業情報の調査・収集・提供(随時) 等

## 9 総会、秋期合同現地研修会

- (1) 第43回通常総会

- ア 日 時 令和元年6月24日（月）
- イ 場 所 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館
- ウ 議 題
- 第1号議案 平成30年度事業報告及び収支決算の承認について
- 第2号議案 令和元年度事業計画及び収支予算の決定について
- 第3号議案 令和元年度会費の賦課及び徴収方法の決定について
- 第4号議案 役員を選任について
- 第5号議案 その他

エ 講 演

(ア)講師 東京農業大学名誉教授、全国土の会会長

後藤 逸男 氏

(イ)演題 主題『土壌診断と土づくり』

副題「土一筋48年を振り返る」

(2) 秋期合同研修会

ア 日 時 令和元年9月12日（木）～13日（金）

イ 参加団体 3団体27名

- ・全国バーク堆肥工業会（6名）
- ・全国土壌改良資材協議会（19名）
- ・全国食品・畜産有機資源リサイクル協会（2名）

（注）上記の外、信州土壌医の会他2団体の計9名も参加

ウ 日 程

12日 (木)	<p><u>視察先1</u></p> <p>○長野県野菜花き試験場（塩尻市宗賀床尾）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洋野菜での緑肥利用</li> <li>・試験場で行っている肥料、資材試験、簡易排水性診断等</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><u>視察先2</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五一ワイナリー（塩尻市宗賀）</li> </ul>
13日 (金)	<p><u>視察先1</u></p> <p>○農園あづさ視察（松本市梓川梓）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹園における土づくりの取りくみ</li> <li>・自前製造した堆肥（食品・畜産等廃棄物）、減農薬による直販農業</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><u>視察先2</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模ワサビ農園視察（安曇野市穂高）</li> </ul>

## 10 行事等

月	日	内 容
4	1	木材チップ市況需給動向調査（3月）
	17	} 全国木材チップ工業連合会(以下「全チ連」))事業計画打合せ及び現地調査 (島根県チップ生産組合、島根県内)
	18	
	22	全チ連会計監査（連合会事務室）
	25	国産材製材協会総会（霞が関ビル会議室）
5	1	木材チップ市況需給動向調査（4月）
	9	全チ連事業計画打合せ及び現地調査（宮城県木材チップ工業会、宮城県内）
	13	全チ連事業計画打合せ（熊本県チップ協会、熊本県内）
	14	（一社）全国木材組合連合会総会（メルパルク東京会議室）
	16	全チ連事業計画打合せ（鹿児島県チップ協会、連合会事務室）
	22	中央団体への消費税軽減税率制度説明会（農林水産省経営局、三田共用会議所講堂）
	24	全チ連第1回理事会・第63回総会（日本教育会館会議室）
	27	第70回全国植樹祭（愛知県内）
6	2	第70回全国植樹祭（愛知県内）
	3	木材チップ市況需給動向調査（5月）
	7	（一社）林業機械化協会総会（日本酒造会館会議室）
	11	当工業会会計監査(当工業会事務室)
	13	木質バイオマス認定事業者立入検査（東京都内）
	20	林業団体懇談会（森林・林業白書説明、永田町ビル会議室）
	24	当工業会第43回通常総会（日本教育会館会議室）
	25	林材業ゼロ災推進中央協議会総会（商工会館会議室）
27	宮城県木材チップ工業会総会（宮城県仙台市、ホテル白萩会議室）	
7	1	木材チップ市況需給動向調査（6月）
	4	木質バイオマス認定事業者立入検査（東京都内）
	9	同 上 （東京都内）
8	1	木材チップ市況需給動向調査（7月）
	20	発電利用に供する木質バイオマス研修会(愛知県、県林業会館会議室)
	23	林産物貿易対策全国協議会総会（（一社）日本林業協会、永田町ビル）
	29	第2回合法伐採木材利用促進全国協議会((一社)全国木材組合連合会、商工会館会議室)
9	2	木材チップ市況需給動向調査（8月）
	12	} 当工業会秋期合同研修(長野県内)
	13	

	20	林業団体懇談会（令和2年度概算要求予算等説明、永田町ビル会議室）
	〃	元年度公開講座「熱帯木材貿易の現状と最近のITTOの取組」（永田町ビル会議室）
10	1	木材チップ市況需給動向調査（9月）
	8	（一社）全国木材組合連合会理事会・臨時総会（木材会館）
	16	第56回全国林材業労働災害防止大会（佐賀県唐津市唐津シーサイドホテル会議室）
	24	全チ連第2回理事会（林友ビル6F会議室）
11	1	木材チップ市況需給動向調査（10月）
	6	宮崎みどり製菓(株)研修会（ホテルメトロポリタン東京会議室）
	7	林野庁表敬（宮崎県木材チップ工業会）
12	2	木材チップ市況需給動向調査（11月）
	13	林野庁指導事項報告・説明（林野庁）
	27	木材チップ市況需給動向調査（12月）
1	6	新年賀詞交歓会（（一社）日本林業協会主催、三会堂ビルホール）
	15	林野庁表敬（宮崎県木材チップ工業会）
	16	肥料制度見直し説明会（農林水産省消費・安全局、農林水産省7階大会議室）
	23	林業団体懇談会（令和2年度予算等説明、永田町ビル会議室）
	27	外国人技能実習部会準備総会（（一社）全国木材組合連合会、永田町ビル会議室）
	30	木質バイオマス認定事業者立入検査（東京都内）
2	20	肥料の自主的ガイドライン検討委員会（（一社）日本科学飼料協会、TKPスター貸会議室茅場町）
	21	（一社）日本林業協会総会（赤坂インターシティコンファレンス会議室）
	28	全チ連第3回理事会（林友ビル6F会議室）
3	4	岐阜県木材チップ工業会会議（岐阜森林文化センター会議室）
	6	第2回合法伐採木材利用促進全国協議会（（一社）全国木材組合連合会、商工会館会議室）
	12	東京肥料品質保全協会総会（書面決議により実施）
	19	林業退職金共済制度運営委員会（書面決議により実施）
	30	}（一社）全国木材組合連合会理事会・総会（書面決議により実施）
	31	